

新年あいさつ 中野英樹

あけましておめでとうございます。

今年のお正月は、コロナ禍ということで、今までにないお正月になってしまったでしょうか。また例年になく寒いお正月でしたね。

さて、今年のあいさつでは、2000年2月に株式を上場して20年となり、オリンピックイヤーでもあるので、当社にとっても、また日本にとっても、素晴らしい年になるのではないかとお話ししていたのですが、まさかのような2020年で、本当に世の中わからないものだと思います。皆さんも、心配事やストレスの多い1年だったのではないかと思います。また、ポピュリズムと言われる思想が増えて、権利を主張する前に義務をしっかりと果たすことを、もう一度謙虚になって大切にしたい方がいいのではないかと話しました。そして、そのためにもまず心がけることとして、健康であることと税金をしっかりと払うことに努めることという話をしました。それは、コロナ禍の現在、本当にひとりひとりが大切にしないといけないことだと思います。日本も世界も、精神的な面も含め健康のダメージ、そして経済的ダメージが大きく、みんな大変努力をしていると思いますが経済的に困窮する人も増えてきています。当社は、そうした中でも、社員、協力業者の方々が懸命に働き、またお客様の皆様にも応援していただき、自立した活動ができており、結果としてしっかりと税金も払っています。在宅勤務という状況もほとんどなく、健康的で規則正しい生活を維持できているのではないのでしょうか。皆さんの努力の賜物だと思います。これを継続できるよう頑張っていきたいと思えます。話は変わりますが、昨年、アメリカのロックバンドのBON JOVI(ボンジョヴィ)が、コロナ禍で苦しむ人々に向けて、公募の詩にメロディーをつけた「DO WHAT YOU CAN(あなたの出来ることをしよう)」という歌を出しました。かなり、社会的メッセージの強い歌詞ですが、ネットでも聞けるので、機会があれば聞いてみて下さい。今はできることもできないけれど、出来ることをしよう。自分を愛し、家族を愛し、隣人、友を愛し。ただ、それだけでいい。と歌っています。彼らは、キリスト教文化の中に生きているわけですが、歌詞の内容は、日本の禅の世界そのものだと思います。禅の教えに「人は生きなければならぬ。」というのがあります。どんな困難な状況、不幸、病気、いろんなことがあっても、人は生きなければならぬ

い。我々ができることは、日々の生活の中で、できること、良い考えをし、良き行いを継続するだけというものです。

時々、このコロナは、我々にどうしろと言っているのかと、天は、我々に反省を促し、何かを変えろと言っているのだろうか？と考えることがあります。ただ、あまり深く考えて、納得するような意味づけをしても、当たるものでもないと思います。考えることは、悪いことではありませんが、つつい考えすぎてしまい、自分の力ではどうにもならないことを考えたり、堂々巡りになったりします。あまり考えすぎず、出来ることを行う、つまりは、体を動かした方がいいのではないかと思います。朝、規則正しく起きて、窓を開けて新鮮な空気を吸い、周りの清掃を行い、朝食をとり、身支度をして出かける。日常の出来ることを行い、より良い行動をしていくしかないように思います。ボンジョヴィの歌のとおりです。ストレスをためず、精神的な健康のためにもこれが一番です。コロナで、世の中のいろいろな仕組みは変わるかもしれません。ただ、変わるのには、表面的なノウハウのようなもので、人間そのもの、もっと深い意味での大切なことは何も変わらない。人間が長い歴史の中で、苦労しながら築き上げたものが、変わるはずがない。何が起ころうとも、元気に前向きに、また、密を避けることは感染症の上では必要ですが、人間としては人といかに密接につながり、人の気持ちがわかり、思いやることができるか、密であることは何よりも大切で、リアルに人とあい、良い関係性を築いていくことは、今も変わらず、それは人生そのものだと思います。

今年も、世の中の動きに対応すべき点には対応し、変わる必要のないところは、しっかりぶれずに貫いて、当社らしく明るく前向きに励んでいきたいと思えます。そして、最後に、今年度は残念ながら、前年度を下回る結果となってしまおうでしょう。ただ、コロナとは関係なく、日本はずっと元気がなく、国力、国際競争力はここ30年ぐらい低下する一方です。それは、情けないのではないかと思います。当社も、残念ながら今年度は、減少してしまいましたが、来年度は、必ず倍返しぐらいで上向きにしてやろうと思っています。コロナなどに負けずに澆漑と仕事をして、一方で人にやさしく、そして、結果をきちんと残していきたいと思います。

誰にとっても貴重な1年です。自粛という言葉で、何でも片付けてしまうのはよくありません。何かをしないのなら、人に言

われて決めるのではなく、自分で主体性をもって決めて、その代わりに何をするのか考えましょう。

大雪

今年度は、例年になく大雪で、当社の営業エリアの中では、岐阜営業所の飛騨地方が最も雪の多いエリアではないでしょうか。12月の寒波の後、飛騨地方でシロアリ駆除工事を行うため、お客様宅前に作業車を駐車するのに1時間の雪かき作業を行ったそうです。甲信営業所、北陸営業所エリアでも雪になっており、防水工事を行うのも気温の低下、凍結など配慮が必要です。ただ、暑い時は暑くなり、寒い時は寒くなった方が、いろいろとお客様宅も対策が必要となり、商売の上では一般的には売上が上昇しますので、頑張っていきたいと思います。

デアールとセブンハウスで、
営業的により協調して

新築住宅は、セブンハウス、既設住宅のリフォーム、中古不動産の販売・賃貸は、デアールということで、営業的な協調をより強めていきます。まず、既存のお客様に郵送している通信を同じものにし、情報の提供を同じにして販売に結び付けるとともに、土地や不動産の情報収集も増やしていきます。また、今後は、デアール王などのキャラクターを、セブンハウスでも使用していきます。

佐世博さんのご逝去

かねてから、病氣療養中だった佐世博さんが、昨年12月にご逝去されました。平成13年10月の入社以来、豊橋、岡崎方面の防虫営業で御活躍されました。まだ、56歳という若さでした。心よりご冥福をお祈りいたします。



お客様のご来店を待つばかりの各務原店

施工事例紹介

- 施工場所 富山県富山市
- 工事名 フェンス工事
- 工事内容 既存ブロック塀解体、新設フェンス設置
- 仕様 積水樹脂(株) めかくし塀 V 型



施工前



施工後

■ 担当 大阪事業部 北陸営業所 辻 匡弘

老朽化して地震で倒壊の危険性がある駐車場のブロック塀を解体し新しくフェンスを設置しました。既存のブロック塀は控壁があり鉄筋も入っていましたが、老朽化が激しく目視でも処々亀裂が入って鉄筋が見えている状態でした。ブロックを撤去し下の基礎部分は残し天端をモルタルで均したうえでフェンスを設置しました。ブロック塀解体時は駐車場の利用者や近隣の方にも配慮し出来るだけ短期間で工事を完了させることを心掛け、また隣家に排気ガスがなるべく入らないようにフェンスと基礎の隙間にアンダーカバーを加工して取り付けました。

ちょっと一言

「座右の銘」



大阪事業部 阪神営業所
葛西 達也

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。年末年始皆様ゆつくりお休みになれましたでしょうか？昨年からのコロナウィルスにより、忘年会・新年会の自粛などからストレス発散の場が少なからず減っているかと思えます。私も毎年楽しみにしていた学生時代の忘年会がなくなり、残念な思いがございました。

今回私がお話しさせて頂こうと思うのは座右の銘についてです。皆さん色々と座右の銘があるかと思いますが、私の座右の銘として大事にしている言葉は『心が変われば行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば人格が変わる、人格が変われば運命が変わる』という言葉です。この言葉を初めて知ったのは中学校時代に野球部の恩師からお教え頂きました。松井秀喜選手もこの言葉を星稜高校時代に野球部監督の山下監督から送られ、座右の銘にされているとの事です。

何かを変えて頑張っていこうと思う時この言葉が思い浮かびます。小さなことから少しずつ変えていく事で色々なことが変化し、新しい幸せが生まれると思えます！コロナウィルスにより様々な環境変化があり大変な時期ではございますが、皆さんが少しずつ変わっていくことで幸せな未来が待っていると思えますので、力をあわせ頑張っていきましょう！

入社社員紹介

- ★ 築山 克己 建設事業部 不動産課 54歳
趣味:スポーツ観戦[野球、サッカー]
「これまでの経験を生かして、一日も早く貢献出来るよう日々精進します。よろしくお願いいたします。」

★Happy News★

資格取得おめでとうございます

- ★ 営業推進部 岡田主任
- ★ 法人事業部 東海営業所 若杉さん
宅地建物取引士
- ★ セブンハウス事業部 樋田さん
二級建築士

お誕生おめでとうございます

- ★ 設備事業部 東海統括課 小島さん
男児誕生

